

令和7年度秋田大学医学部医学科授業計画

分類：臨床医学アドバンストコース

授業科目名：総合診療・検査診断学（Clinical Reasoning and Laboratory Medicine） - 感染・免疫アレルギー・総合診療アドバンスト・コース -

対象学年：4年次選択

時間割コード：71594005

開設学期等：第13週

単位数：0.5

1. 主任教員

植木重治（教授、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8:30～17:00）

2. 担当教員

植木重治（教授、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8:30～17:00）

嵯峨知生（病院教授、附属病院感染制御部、6248、オフィスアワー：8:30～17:00）

守時由起（准教授、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8:30～17:00）

嵯峨亜希子（助教、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8:30～17:00）

藤岡優樹（助教、附属病院中央検査部、6209、オフィスアワー：8:30～17:00）

引地悠（医員、附属病院総合診療部、6209、オフィスアワー：8:30～15:00）

長谷川諒（医員、附属病院総合診療部、6209、オフィスアワー：8:30～17:00）

肥塚慶之助（医員、仙北ウェルビービング地域医療・総合診療連携講座、6428、オフィスアワー：8:30～17:00）

高橋琴乃（医員、男鹿なまはげ地域医療・総合診療連携講座、6428、オフィスアワー：8:30～17:00）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

主訴と病歴および患者背景から臨床的問題点を抽出し、可能性のある疾患・病態を列挙でき、適切な臨床検査を選択できる。(3-2～3-3, 4-1～4-2)

さらに、本領域が関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、医療法（制度）、EBMについて説明・実践できる。(1-1～1-2, 3-3, 3-5, 3-7, 4-4)

4. 教科書・参考書

5. 成績評価の方法

出席、発表および課題提出

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

受入予定人数：6名

診断学、検査学、一般内科を予習しておくとよい。

| 講義内容・具体的到達目標・学修目標 | | | | | | |
|-------------------|--------------|---------|------------|---|-------|-----------------------------|
| | 開講月日 | 時限 | 授業形式 | 講義内容・具体的到達目標・学修目標 | 担当教員 | 場所 |
| 1 | 6月30日 (月) | 1-2 時限 | グループ 学習 | テーマ：オリエンテーション 実習の概要について説明する | 植木重治 | 南臨床研究棟4F |
| 2 | 6月30日 (月) | 3-4 時限 | グループ 学習 | テーマ：ケース・スタディ1 主訴、病歴、患者背景等から可能性のある疾患や病態を列挙でき、診断アプローチや適切な臨床検査の選択について解釈できる | 植木重治 | 血液骨髄形態検査室／中央検査部 カンファラנס室 |
| 3 | 6月30日 (月) | 5-6 時限 | グループ 学習 | テーマ：ケース・スタディ2 主訴、病歴、患者背景等から可能性のある疾患や病態を列挙でき、診断アプローチや適切な臨床検査の選択について解釈できる | 引地悠 | 血液骨髄形態検査室／中央検査部 カンファラنس室 |
| 4 | 6月30日 (月) | 7-8 時限 | グループ 学習 | テーマ：総合診療カンファランス 総合診療部カンファランスへ参加し、総合的な症状に対する診断アプローチや基本的な臨床検査データを理解し、解釈できる | 植木重治 | 中央検査部 カンファラنس室 |
| 5 | 6月30日 (月) | 9-10 時限 | グループ 学習 | テーマ：ケース・スタディ3 主訴、病歴、患者背景等から可能性のある疾患や病態を列挙でき、診断アプローチや適切な臨床検査の選択について解釈できる | 守時由起 | 血液骨髄形態検査室／中央検査部 カンファラنس室 |
| 6 | 7月1日 (火) | 1-2 時限 | グループ 学習 | テーマ：ケース・スタディ4 主訴、病歴、患者背景等から可能性のある疾患や病態を列挙でき、診断アプローチや適切な臨床検査の選択について解釈できる | 嵯峨知生 | 血液骨髄形態検査室／中央検査部 カンファラنس室 |
| 7 | 7月1日 (火) | 3-4 時限 | グループ 学習 | テーマ：ケース・スタディ5 主訴、病歴、患者背景等から可能性のある疾患や病態を列挙でき、診断アプローチや適切な臨床検査の選択について解釈できる | 嵯峨亜希子 | 血液骨髄形態検査室／中央検査部 カンファラنس室 |
| 8 | 7月1日 (火) | 5-6 時限 | グループ 学習 | テーマ：ケース・スタディ6 主訴、病歴、患者背景等から可能性のある疾患や病態を列挙でき、診断アプローチや適切な臨床検査の選択について解釈できる | 肥塚慶之助 | 血液骨髄形態検査室／中央検査部 カンファラنس室 |
| 9 | 7月1日 (火) | 7-8 時限 | グループ 学習 | テーマ：ケース・スタディ7 主訴、病歴、患者背景等から可能性のある疾患や病態を列挙でき、診断アプローチや適切な臨床検査の選択について解釈できる | 長谷川諒 | 血液骨髄形態検査室／中央検査部 カンファラنس室 |
| 10 | 7月1日 (火) | 9-10 時限 | 自主学習 | テーマ：プレゼンテーション準備 | 植木重治 | 血液骨髄形態検査室／中央検査部 カンファラنس室 |
| 11 | 7月2日 (水) | 1-2 時限 | グループ 学習 | テーマ：ポートフォリオ発表 実習の振り返りと課題の発表を行う | 植木重治 | 南臨床研究棟4F |
| 12 | 7月2日 (水) | 3-4 時限 | 全体討議 | テーマ：フィードバック 実習の目標達成に必要な問題解決や成長促進を目的としたコメントを行う | 植木重治 | 南臨床研究棟4F |